

青木村子どもはつらつネットワーク通信

平成27年度 第119号 8月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

青木村の小中学校には、通常の学級担任や教科担任の他に、いろいろな場面で子ども達を支援する先生方がいらっしゃいます。学校を訪問すると、そのような先生方が授業の補助に入ったり、そっと子ども達を見守ったりしている様子をいつも目にします。

このような支援体制が、小中学校での児童生徒一人ひとりに合わせたきめ細やかな対応や少人数クラスの編成を可能にしたり、中学校での授業以外のプラスアルファな学力定着・学力向上への取り組みを可能にしたりしています。

またこれらは、子ども達が安心して楽しく学校へ通える理由のひとつであり、青木の学校を視察に訪れた県内外の方々が一様に「青木の子は明るく素直」「とても落ち着いて授業に取り組んでいる」などの感想をもたれる理由にもなっていると考えています。

今月号では、小中学校の校長先生にそれぞれの学校の支援の様子をお聞きしました。

また、7月4日に行われました信大教育学部学生のイベントの様子もお伝えします。

多様な教育的ニーズに応えるために

～青木小学校の支援体制～

校長 吉澤 修一

子どもたち一人一人の様々なニーズに応えるために、青木小学校では多様な支援体制をとっています。その様子をご紹介します。

5・6年生の算数では、担任と共に少人数学習担当の職員が少人数学習を行っています。一つのクラスを二つに分け、複数の指導者でそれぞれの子に応じたよりきめ細かい指導・支援を行っています。そして、中学校の教科担任制を視野に入れて、6年担任が5年の外国語活動を、5年担任が6年の国語を担当し、それぞれの先生方の持ち味を發揮して授業を行っています。



また、メディアコーディネーターが、授業で使いやすいようにパソコンや電子黒板などの環境を整えたり、授業をサポートしたりしています。さらに、子どもたちの安全面や学習状況に応じて、特別支援教育支援員を中心に学級に複数の職員が入って指導にあたっています。この支援体制は、定期的に見直しを行い、その時々々のニーズに臨機応変に応えら

れるように対応しています。図書館や保健室、職員室、事務室、校長室なども、必要に応じて学習の場として提供しています。

このように、青木小学校では、全校児童を全職員がチームで見守り支援しながら、一人一人を大切に教育を実践しています。

～青木中学校の支援体制～

校長 清水 恒善

「青木村は学校をとて大事にしてくれている」「青木村は教育に熱心」
青木中学校に赴任するにあたって、多くの方からそのような声をかけていただきました。青木中学校には、村立ならではの手厚い支援がいくつもあります。村当局のご尽力と、ここに勤める先生方の努力の賜物と思います。

①数学、英語の習熟度別学習や少人数学習…2，3年生は2クラスを習熟度に応じたコース別学習を行っています。1年生は、1クラスをさらに2クラスに分けて少人数による学習を行っています。

②ティームティーチング…学力差がつきやすい教科を中心にAET（アシスタントイングリッシュティーチャー）や支援員がTT（ティームティーチング）で入り授業のなかでつまずきへの個別支援や授業補助等の学習支援にあたっています。（右写真）



③ウィークエンドスタディ…数学科で独自に行っています。2名の教科担任で生徒全員にその週に学習した内容を中心とした週末の宿題（数学）を課し、月曜日のうちに職員が採点・返却し、ゴテラで補充学習を行うというものです。

④スクールカウンセラー、心の教室相談員の配置…生徒や保護者の心配事や悩みなどの相談に応じていただいています。対応相談のご希望等ありましたら学校までご連絡下さい。メンタルフレンドルームも整備されており活用されています。

⑤漢字道場、ゴテラ、みんなでゴテラの実施…年間で12回の漢字道場の実施により子どもたちは道場破りをめざして頑張っています。ゴテラは部活動のない月曜の放課後に実施しています。先生方と個別に質問したり学習したりする場を設けています。（右写真）定期テスト前には「みんなでゴテラ」を今年度から実施しています。漢字道場の採点、ゴテラでは地域の方にボランティアで参画していただいています。



⑥非免許の解消…村費の先生を配置していただ

いていることで、全ての教科指導で免許をもった先生方にご指導いただいています。

ご家庭でのご支援、地域との太いつながり等が重なり合って、青木中学校のしっとりとした落ち着きや学力向上の面で、大きな成果につながっていると思います。今後とも青木中学校へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

あおき最強の組を決めろ!!あおきつこ大運動会!!



今回は、7月4日(土)に運動会を企画しました。でもただの運動会では面白くない!ということでそれぞれの競技を少しずつ工夫していきました。去年1年間青木小の子どもたちと関わる中で体を動かすことが好きな子が多いなということも感じていたので、どんなふうになるのかとても楽しみでした。今回は4つの種目を用意しました。玉入れ、綱引き、〇×クイズ、リレーです。通学合宿と違い1年から6年まです

べての学年の子が参加したのでどの学年の子でも楽しめるようにルールを考えました。玉入れではカゴを学生が背負い走り回りながら逃げ、そのカゴに向かって子どもたちが球を投げいれます。全力で学生の背負ったカゴを追い掛け回して球を投げ入れる姿が印象的でした。綱引きは綱を交差させて十字にして4チームで引っ張り合う十字綱引きをしました。色ごとに掛け声をかけて歯を食いしばりながら綱を引っ張っていました。〇×クイズでは学生に関する問題や青木に関する問題などが出され班内で相談して答えを出していました。最後のリレーでは、「バック走」「ぐるぐるバット」「麻袋に入ってピョンピョンする」「匍匐前進」の4つを1人4分の1周ずつ行い1位を決めました。各種目で子どもと学生のたくさんの笑顔が見られました。学生の参加も38人と多く、県短や清泉からも学生が参加してくれました。多くの学生が元気なあおきっこたちと関わる機会を持てるということは素晴らしいことだなと感じました。

次はどんなあおきっこの笑顔が見られるのか、10月の企画がとても楽しみです。



はつらつ先生 IN あおき

今回は、青木小学校6年1組担任 久保田 俊也 先生です。

- 好きな食べ物…ハンバーグ、お寿司、焼肉。この3つがあればローテーションでいくらでも食べられます。気取った料理よりも丼などのご飯ものが好きです。生クリームも大好きです。パフェやプリンやショートケーキ本体よりも上に乗っている生クリームに目がありません。



家族の皆が嫌いなので自分の誕生日ぐらいしか食べる機会がありません。



- 苦手な食べ物…長ネギです。給食で出た場合はかまずに飲み込みます。子どもの頃、たくさんのおねぎを運ぶ車に乗りその臭いで気持ち悪くなったのがきっかけです。
- 趣味…『さらの湯』の朝風呂。平日の定休日以外はほぼ行っています。9時寝4時起き、ノー目覚ましで目覚めます。あと時刻表を見ることです。家族で旅行に行った時、乗換指示は自分の担当で唯一家族に頼りにされる場面です。
- どんな子でしたか？…小学校高学年頃までは人見知り激しく、授業中も積極的に手を挙げるできませんでした。中二ぐらいから何となく変わってきました。初対面の印象は悪いタイプで、打ち解けられるようになると友だちから「第一印象とは違うね」と言われるようになります。今でも新しい学校に赴任した時は、数週間は殻に閉じこもっています。



- 先生にならなかつたら？…小さい頃から教員になりたかったけど、鉄道が好きなので、もしかしたら鉄道関係の仕事に就いていたかもしれません。東京駅などでは電車を見たりして1日過ごせます。中学の担任の先生が初任の先生で、その頑張っている姿を見て「先生っていいなあ〜」と思いました。高校の担任の先生は英語でしたが、高校の先生っぽくなく子どもに近い存在で、英語の楽しさを教えていただいたことで英語の先生になろうと決意しました。
- 好きな有名人は？…松岡修造。熱いけど面白いところが好き。若い時は、ピンクレディーのミーちゃんや松田聖子が好きで、中島みゆきやオフコースなども良く聴きました。
- お休みの日は何をしていますか？…見た目（服装）はスポーツ系ですが、休みの日はよく寝ています。部活に入っている子どもの追っかけもしています。



編集後記 青木小中学校では先生方が一丸となり子どもたちをチームで支援してくださっています。『青木の子は村全体で育てる』のスローガンのとおり、これからも保護者と地域の皆さんで学校や村の子ども達を温かく見守っていきましょう。